



第153回

# 華人研セミナー 12月17日(土)

開催時間 午前10時～12時

## 軍事圧力『常態化』後の中台関係

話題提供者 **近藤 伸二氏** (こんどう しんじ)

概要：

今年8月にペロシ米下院議長が台湾を訪問し、反発した中国が大規模な軍事演習を実施して以来、軍事圧力が「常態化」しています。10月に開催された共産党大会で異例の3期目に入った習近平総書記はますます権威と権力を集中し、台湾への統一攻勢を強める構えを見せています。台湾では11月に統一地方選挙が行われ、蔡英文政権に有権者の審判が下されます。新年を迎えると、与党・民進党や最大野党・国民党などで翌2024年の総統選候補者の党内レースが始まり、「政治の季節」が幕を開けます。中国新体制の下、中台関係はどこに向かうのか、行方を占ってみたいと思います。



ジャーナリスト  
関西学院大学国際学部非常勤講師

略歴：

1956年神戸市生まれ。1979年神戸大学経済学部卒業、毎日新聞入社。香港支局長、台北支局長、大阪本社経済部長、論説副委員長などを歴任。1994～1995年、香港中文大学に留学。2014年追手門学院大学経済学部教授、2017～2021年同大学オーストラリア・アジア研究所長兼任。2022年3月同大学を退職、4月からジャーナリストとして活動し、関西学院大学国際学部非常勤講師も務めている。著書に『彭明敏 蔣介石と闘った台湾人』（白水社、2021年）、『米中台 現代三国志』（勉誠出版、2017年）、『アジア実力派企業のカリスマ創業者』（中公新書ラクレ、2012年）、『反中 vs. 親中の台湾』（光文社新書、2008年）、『続・台湾新世代——現実主義と楽観主義』（凱風社、2005年）、『台湾新世代——脱中国化の行方』（凱風社、2003年）など。

- 会場 大阪市立総合生涯学習センター（大阪駅前第2ビル5階）第4研修室  
〒530-0001 大阪市北区梅田1-2-2-500 大阪駅前第2ビル5・6階  
【TEL】06-6345-5000(代表)
- 定員 24名（先着順で受け付けます。満員になり次第締め切ります。）
- 申し込み メール連絡のみ 事務局メールアドレスまでご連絡ください。  
sec@kajinken.jp
- 参加費 2000円（セミナー後の飲食は有りません。）

